

## 凡例

1. 「単位」の項目については、45時間相当の学修をもって1単位とすることを標準としており、その授業方法・授業時間外に必要な学修を考慮し、単位数を定めている。

※本学では、1コマ90分の授業時間を2時間として換算する。

・講義及び演習については

週1コマ授業（2時間）×15週の場合

授業30時間+予習・復習60時間=90時間 ⇒ 2単位

・実験、実習及び実技については

週1.5コマ（3時間）×15週の場合

授業時間45時間 ⇒ 1単位

2. 「週時間」の項目については、左側は講義又は演習の時間数を、右側は実験、実習又は実技の時間数を示す。

例1. 『2-0』とあるのは、講義又は演習を週2時間（90分）で行うことを示す。

例2. 『0-2』とあるのは、実験、実習又は実技を週2時間（90分）で行うことを示す。

例3. 『1-3』とあるのは、講義又は演習を週1時間（45分）、実験、実習又は実技を週3時間（135分）で行うことを示す。

3. 「必修選択」の項目については、『必』は必修科目、『選』は選択科目、『選必』は選択必修科目、『自』は自由科目を示す。

4. 「担当教員名」の項目中、氏名の前にある表記については、次のとおりとする。

人	人文社会学部の教員	法研	法務研究科の教員	研機	研究推進機構の教員
国	国際地域創造学部の教員	教研	教育学研究科の教員	島嶼	島嶼地域科学研究所
教	教育学部の教員	教セ	琉球大学教職センター	情セ	情報基盤統括センターの教員
理	理学部の教員	保セ	保健管理センターの教員	障支	障がい学生支援室の教員
医	医学部の教員	G機	グローバル教育支援機構の教員		
工	工学部の教員	熱セ	熱帯生物圏研究センターの教員		
農	農学部の教員	地連	地域連携推進機構の教員		
非	非常勤講師	機セ	機器分析支援センターの教員		

5. 「教室」の項目については、各学部等の頭文字と教室番号を示す。

共1-100	共通教育棟1号館100教室	G津梁	附属図書館（国際資料室2B）	・『研究室』『演習室』 教員研究室等を示すので確認すること。
文講100	文系講義棟100教室	文研100	文系学部棟100教室	
教100	教育学部校舎本館100教室	音100	教育学部音楽棟100教室	
体100	体育棟100教室	彫工100	彫刻工芸棟100教室	
理100	理学部本館100教室	複100	理学部理系複合棟100教室	
保100	保健学科講義棟100教室	総合100	文系総合研究棟100教室	
工1-100	工学部1号館100教室	技100	技術教育棟100教室	
農100	農学部校舎本館棟100教室			

6. 「時限」の項目については、授業時間表『別表Ⅰ・Ⅱ』のとおりとし、たとえば『1前』とあるのは、第1時限前半（8:30～9:15、45分授業）を意味し、『別表Ⅱ』の適用となるので登録の際は留意すること。

7. 「期間」の項目については、『半年』は当該学期の開設、『通年』は前学期・後学期を通しての開設、『集中』は集中講義、『クォーター』は前学期と後学期のそれぞれ前半（第1・第3）と後半（第2・第4）に8週で開設する科目のこと。

8. 「調整期間登録」の項目については、○印が付されている場合は登録調整期間内に登録する。

○印が付されていない場合はWeb抽選登録となり、登録申請期間内にWeb履修登録を行う。

9. 「遠隔授業」の項目に○印が付されている科目は、授業回数 of 全て又は8回以上を遠隔で実施する。

なお、卒業要件単位に含むことができる上限があるので、登録の際は留意すること。